

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座 准教授
氏名 Name	中村 未樹
専門分野 Academic Field	イギリス演劇

平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	エリザベス朝演劇				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words) エリザベス朝の英国の舞台における演技と演劇空間のコミュニケーションを考察することを目的として、平成 29 年度は「エリザベス朝演劇におけるパッションの表現、抑制、伝達、受容」に関する研究をさらに継続し、以下の四つの作業を行う。 (1) 『十二夜』における異性装と反劇場主義の問題について、自由、抑制などのキー・ワードを中心にして考察を行う。 (2) 『十二夜』の種本であるバーナビー・リッチの散文作品『アポロニウスとシラ』の翻訳を行う。 (3) 『間違いの喜劇』における時間と演劇経験の問題について、同時代における演劇論を参照しながら考察を行う。 (4) エリザベス朝の劇場におけるパッションの特徴と機能について、当時の一次資料、及び近年における本分野に関する研究を参照しながら考察する。また、演劇空間において形成される共感の文化的・政治的意義と力について、当時の社会的状況と関連づけながら検討していく。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	英米・英語圏 文学				
キーワード Keywords*2	シェイクスピア	エリザベス朝演劇	役者	演技	パッション